

原子力バックエンド費用について

2023年1月19日
中国電力株式会社

原子力バックエンド費用の概要

- 原子力バックエンド費用（「使用済燃料再処理等拠出金発電費」、「特定放射性廃棄物処分費」、「原子力発電施設解体費」）は、法令や原子力発電所の運転計画に基づき算定しました。
- 今回原価は、島根原子力発電所 1 号機の廃炉等による原子力発電電力量の減少はあるものの、各種制度見直し等の影響により現行原価と比較して12億円増加しました。

<各費目の内訳>

(億円)

	申請原価 3か年平均 (A)	現行原価 (B)	差 引 (A-B)	備 考
使用済燃料再処理等拠出金発電費	68	—	68	・使用済燃料の再処理等に係る制度見直し
使用済燃料再処理等発電費	—	51	▲51	・使用済燃料の再処理等に係る制度見直し
特定放射性廃棄物処分費	19	25	▲5	
うち当期発電分	19	12	8	・拠出金単価の上昇
うち1999年末迄の発電対応分	—	13	▲13	・拠出終了
原子力発電施設解体費	26	26	▲0	・制度の見直し（生産高比例→定額法）
合 計	114	102	12	

<原子力発電の発電電力量> 注：〔〕内は利用率

(億kWh)

	申請原価 3か年平均 (A)	現行原価 (B)	差 引 (A-B)	備 考
合計	〔62.8%〕 45	〔82.6%〕 93	〔▲19.8%〕 ▲47	
島根 1 号機	〔—〕 —	〔93.6%〕 38	〔—〕 ▲38	・2015年4月に営業運転終了
島根 2 号機	〔62.8%〕 45	〔76.4%〕 55	〔▲13.6%〕 ▲10	・申請原価上は、2024年1月末に再稼働